

公益社団法人 名古屋中法人会

新栄、千早支部

地域社会貢献事業

「名古屋で生まれた…ロマンの調べ」

哀愁ある音色が魅力の大正琴。じつは大正元年（一九一二年）に名古屋の大須で生まれたというのをご存知でしょうか。いまも全国に愛好家がいる背景には、発祥地・名古屋にて大正琴を作り続けるメーカーの貢献があります。その楽器づくりと、文化としての普及活動へのこだわりに触れ、ノスタルジックな調べをお楽しみいただきます。

平成三十年

十二月五日「水」

午後六時三十分開演

中日パレス（中日ビル五階）

①【講演会】

〈講師〉

岩田 茂

株式会社ナルダン楽器

代表取締役

②【大正琴演奏】

〈演者〉

大正琴澄音会

feat. ニュージックベル Sonnette

主催：公益社団法人 名古屋中法人会

問い合わせ先：名古屋中法人会 名古屋市中区栄4-3-26 昭和ビル3F TEL 052-242-9427

大正琴のいろは

●誕生

大正元年(1912年)、大須観音の近くにあった旅館「森田屋」の息子・森田吾郎(本名:川口任三郎)が考案したのが始まりです。

●ヒントは「タイプライター」

彼は14歳で一絃琴や横笛を演奏し、25歳にはヨーロッパに渡り演奏活動をしていました。そんな渡航先で出会ったのがタイプライター。当時日本にあった一絃琴や二絃琴をベースにして、タイプライターのキーボタンを音階ボタンとして組み合わせることにより誕生した楽器が大正琴です。

●親しみやすい演奏方法

大正琴は鍵盤ボタンが数字で表されておりド・レ・ミ・ファが数字の1・2・3・4に置き換えられています。左手で音階ボタンを押さえ、右手のピックでメロディ弦全部を同時に弾きます。この方式が、楽譜を読めない方や音楽初心者にも易しく、大衆の楽器として普及しました。



株式会社ナルダン楽器の紹介

昭和23年創業。初代 岩田初由が『弾けば鳴る』の意から「ナルダン」のブランド名を考案。ギター製作と販売に取り掛かる。その後「ナルダンハープ」「ナゴヤハープ」のブランドで大正琴の製作も始める。

昭和46年に2代目 岩田勉弘が継承。大正琴製作専門に方向転換し、生産体制をより充実させ本格的な大正琴づくりに取り組む。

昭和55年には大正琴演奏指導教室を開設し全国の愛好者へ大正琴の普及に努める。現在も大正琴教室「澄音会-すみねかい-」の会主を務め、子どもからシニアまで幅広い層に指導活動を行う。

平成20年に3代目 岩田茂が継承し現在に至る。



代表取締役 岩田茂 氏

とき・ところ

2018年12月5日(水)
中日パレス(中日ビル5F)

- 地下街より中日ビルの地下B2エレベーターをご利用下さい。
- 名古屋高速東新町出口から南へ約10分。

講演会&大正琴演奏 ▶ 18時30分～19時30分
情報交換会 ▶ 19時40分～21時00分



お申し込み

FAX 052-242-9429

- 講演会&大正琴演奏 — 無料
- 情報交換会 — 6,000円

※お申し込みは先着順に受け付けます。定員になり次第締め切らせていただきます。

※講演会&大正琴演奏にお申し込みの方には参加票を、情報交換会にもお申し込みの方にはあわせて振込用紙をお送りいたします。

下記にご記入の上、送信してください。 ※締切日 11月21日(水)

ご住所			
電話番号		FAX番号	
貴社名			
講演会&大正琴演奏 参加者 氏名		情報交換会 参加者 氏名	